

令和4年度事業報告

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

目次

1	令和4年度事業報告	1
---	-----------	---

令和4年度事業報告について

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染が国内で初めて報告されてから3年が経過しましたが、感染が衰えることはなく、特に第7波と第8波の時期には、事業実施に影響がありました。このような状況の中、受診団体とともに受診率向上に取り組んだ結果、健診・検査の受診率は昨年度に比べやや改善したものの、コロナ禍前の水準には戻らず厳しい状況が続いています。

普及啓発事業では、テレビやラジオ、新聞などの媒体等を活用した検診の受診率向上などの普及啓発を継続して行ったほか、栃木県結核予防婦人連絡協議会等の協力のもと、3年ぶりに「複十字シール運動街頭キャンペーン」を実施するなど、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら事業を展開しました。

集団健診事業の地域健診では、新型コロナウイルス感染症の影響によって低下した健診の受診率向上を図るため、従来市町で実施していた受診勧奨のほかに、事業団が独自に設定した対象群に対し、市町の協力のもと受診勧奨を行ったことなどから回復傾向となりました。

また、読影医師の負担軽減や読影精度の標準化と読影の効率化を目的にAI（人工知能）を活用した胸部X線画像診断支援システムを導入し、令和4年10月から運用を開始いたしました。

検査事業は、先天性代謝異常等検査において、新たな治療薬が承認されるなど治療法が確立し、早期発見・早期治療により予後の改善が見込まれる脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症について、令和4年度は、一般社団法人日本小児先進治療協議会からの補助金を活用し、自治医科大学・獨協医科大学・済生会宇都宮病院との共同研究として従来の検査に併せて実施いたしました。なお、令和5年度からは従来の新生児マススクリーニング検査20疾患に拡大スクリーニングの2疾患を加えて、栃木県からの委託事業として実施することとなりました。

人間ドック事業は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い体調不良等の理由で当日のキャンセルが増えたことや教職員の受診者が減少したことなどから、令和3年度に比べ受診者が若干減少いたしました。

特定保健指導事業では、保健指導でICTを活用した遠隔面接を実施したほか、健康教室において新たに受託した「事業所における身体機能測定」を行うなど、生活習慣の改善への取り組みに対して積極的に支援いたしました。

食品環境検査事業においては、細菌検査で食品製造業者等からの依頼が減少したことや、簡易専用水道検査で一部の受託団体が他機関へ移行したことなどにより減収となりました。

また、社会情勢や経済状況及び健診・検査の技術革新などの事業環境の変化に対応するため中期経営計画として策定している「企画戦略プラン第2期（平成30年度から5ヶ年）」の終了に伴い、令和5年度を初年度とした「企画戦略プラン第3期（令和5年度から5ヶ年）」を策定し、これまでの健診・検査の精度の向上を図るための体制強化や受診率向上のための取り組みなどのほか、新たな項目として「デジタル化など社会環境の変化への取り組み」を加えました。

今後も、健診・検査の精度管理の維持向上のため、計画的な職員採用、人材育成、設備投資等を行い、公益財団法人として県民や受診団体等のニーズに応えながら、公益目的事業の更なる充実を図ってまいります。

第1 普及啓発事業

県民が、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施しました。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルス対策のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら各種メディアの活用やイベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開しました。

(1) 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 結核予防週間運動の実施（9月24日から30日）

(7) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核予防に関する普及啓発を行いました。

・ポスター 980部

・パンフレット 14,300部

(4) 結核予防に関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、県内のマスメディアを活用した普及啓発を行いました。

・テレビ 45秒告知 1種 10回（とちぎテレビ）

・ラジオ 20秒告知（※） 1種 23回（エフエム栃木）

60秒告知 1種 10回（エフエム栃木）

・新聞 半3段モノクロ告知 1種 1回（下野新聞）

栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）

栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（朝日新聞）

（※）当事業団の職員による収録・放送

イ 複十字シール運動の実施

(7) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、9月から12月まで募金活動を実施しました。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられます。

・令和4年度募金額 1,498,881円

(4) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を7月19日に3年ぶりに実施しました。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼しました。

(7) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を3年ぶりに実施しました。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との共催で、9月23日に宇都宮オリオン通り商店街東武駅前アーケードで募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配付などを行いました。

(2) がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

(7) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施しました。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行いました。

・ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,270部） 計2,540部

・リーフレット2種

（がん検診：4,000部、乳がん検診とブレスト・アウェアネス：4,000部） 計8,000部

・冊子（がんを知ろう） 2,300部

(イ) がん検診に関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、がん征圧運動を周知しました。

・テレビ	45 秒告知	1 種	20 回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	60 秒告知	2 種	29 回 (エフエム栃木)
・新聞	半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (下野新聞)
	折込紙見開き 1/2 フルカラー告知	1 種	1 回 (下野新聞折込紙「アスポ」)
	栃木版半 3 段 モノクロ告知	1 種	1 回 (読売新聞)
・立て看板 (とちぎ健康の森エントランスに設置)		1 ヲ所	

(ウ) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9 月 1 日から 10 日に宇都宮タワー (八幡山公園) で実施したほか、9 月 16 日から 10 月 15 日に栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施しました。

(エ) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を 9 月 23 日に宇都宮オリオン商店街東武駅前アーケードにて 4 年ぶりに実施しました。

イ がん征圧募金運動の実施

(ア) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を 9 月から 12 月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行いました。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てています。

・令和 4 年度募金額 3,037,629 円

(イ) がん征圧募金に関するラジオでの告知放送や新聞での告知掲載を行いました。

・ラジオ	20 秒告知 (※)	1 種	21 回 (エフエム栃木)
・新聞	1 面突出しフルカラー告知	1 種	1 回 (下野新聞)
	半 3 段モノクロ告知	1 種	2 回 (下野新聞)
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	2 回 (読売新聞)
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	2 回 (朝日新聞)

(※) 当事業団職員による収録・放送

ウ 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを男子プロバスケットボールリーグ (B リーグ) の宇都宮ブレックス主催試合の冠スポンサーとなり、12 月 3 日、4 日の 2 日間ブレックスアリーナ宇都宮で行いました。乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行いました。

エ がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 とちぎ」(9 月 17 日: 壬生町総合公園陸上競技場) が、3 年ぶりに現地で開催され、事務局として参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響により短縮しての開催となりました。

当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加しました。

オ その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、がん検診受診率向上のための啓発活動を行いました。

・テレビ	45 秒告知	5 種	70 回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20 秒告知 (※)	4 種	94 回 (エフエム栃木)
	60 秒告知	2 種	38 回 (エフエム栃木)
・新聞	1 面突出しフルカラー告知	4 種	4 回 (下野新聞)
	半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (下野新聞)

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(3) 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 禁煙週間 (5月31日から6月6日) の普及啓発

(ア) 禁煙に関するポスターの配付と展示

・禁煙ポスター (配付) 282部

(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・事業団打合せコーナー

(イ) 禁煙週間に関するテレビでの告知放送や新聞への告知掲載を行いました。

・テレビ	45秒告知	1種 10回
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回

イ 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間 (11月1日から30日)

(ア) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布等を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行いました。

・世界糖尿病デーポスター (展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所受付

・リーフレット (配布) 4種 計400部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

(イ) 糖尿病予防に関するテレビでの告知放送や新聞への告知掲載を行いました。

・テレビ	45秒告知	1種 20回
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回

ウ 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルスに関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、健診・検査等の意義や目的を周知し、受診率向上を図りました。

・テレビ	45秒告知	6種 110回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	4種 92回 (エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	6種 6回 (下野新聞)
	半3段モノクロ告知	1種 1回 (下野新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回 (読売新聞)

(※) 当事業団の職員による収録・放送

エ 生活環境に関する普及活動

(ア) 食品衛生月間 (8月1日から31日) に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞の告知掲載を行い、意識の向上と知識の普及を図りました。

・テレビ	45秒告知	1種 20回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 53回 (エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(イ) 県内のマスメディアを活用して、簡易専用水道検査の受検勸奨を行いました。

・ラジオ	20秒告知(※)	1種 22回 (エフエム栃木)
------	----------	-----------------

(※) 当事業団の職員による収録・放送

オ 関係機関等との連携・協力による普及活動

(ア) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントに例年協力し、パネル展示やリーフレット・啓発品の配付を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行ってまいりましたが、令

和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響から、協力においては一部のみとなりました。

①とちぎ健康の森フェス（社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森 6月4日）

禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配付

②市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供（2市町）

ノベルティ4種 計640部

(イ) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付しました。

- ・複十字誌（公益財団法人結核予防会） 2,754部
- ・健康の輪（公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会） 240部
- ・対がん協会報（公益財団法人日本対がん協会） 7,397部
- ・予防医学ジャーナル（公益財団法人予防医学事業中央会） 216部

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページや定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図りました。

(1) ホームページの公開

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康保持増進に役立つ情報を配信しました。また、厚生労働省や栃木県のホームページから収集した新型コロナウイルス感染症に関する啓発資料を、サイト閲覧者が利用しやすいようにまとめ、公開しました。

(2) 定期情報誌の発行

健康や環境に関する最新情報や保健事業への取組及び活動状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行し、県、市町、受診団体、医療機関、大学や全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開しました。

また、食品検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルスの予防や検査について周知するために、広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行し、食品検査の受検機関や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開しました。

(3) 看板等を利用した普及啓発

JR宇都宮駅改札前通路の構内広告設備を利用して、生活習慣病及びがん検診に関する看板を作成・掲出し普及啓発を同年実施しました。また、栃木県庁舎のエレベーター内にもがん検診の受診を啓発するポスターを掲出し普及啓発を同年実施しました。

第2 県民の健康づくりのための健診・検査等事業及び調査・研究事業

県民の疾病の予防、生活環境の保全、健康の保持増進を図るため、各種の健診・検査事業を実施しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により低下した健診・検査の受診率向上を図るため、受診団体等と連携し感染症対策を講じながら、受診勧奨を行うなど受診率回復に努めました。

また、検査事業では、先天性代謝異常検査において、自治医科大学・獨協医科大学・済生会宇都宮病院との共同研究として、脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の2疾患を検査する拡大スクリーニング検査を、従来の検査に併せて実施しました。

1 健診・検査等事業の推進（部門別事業件数）

(1) 集団健診部門

ア 地域住民の健康を守る健診・検査事業（地域保健）

(ア) 住民健診における肺がん、胃がん、特定健康診査、乳がん、大腸がん、前立腺がんの総受診者数は、新型コロナウイルス感染症の影響はまだ残っているものの、受診勧奨を積極的に行ったことなどから若干の回復傾向となり、令和3年度対比で102.6%（令和元年度比：95.7%）となりました。

(イ) 新型コロナウイルス感染症対策として、市町の協力のもと、受付時間の指定などに取り組み、会場が密になることを避け、健診検査を円滑に進めました。

(ウ) 子宮頸がん検診は HPV-DNA 併用検診の受診間隔を日本産婦人科医会「子宮頸がん検診リコメンデーション」に準拠した検診受診間隔で実施しており、受診対象者の少ない年度となったため、小山地区や芳賀町等で受診者が減少しました。

(エ) 今年度新たに、健診を受託している市町のうち13市町に対し、事業団において選定した対象群（60歳・65歳）への受診勧奨を行いました（合計13,162通）。今後、効果検証を行い、より有効性の高い対象群への受診勧奨をすることで、経年受診者及び新規受診者の増加を図ります。

事業区分			令和4年度				令和3年度			
			受診団体数	実施件数	要精検者数	%	受診団体数	実施件数	要精検者数	%
胸部 検診	肺がん 検診	X線検査	17	78,489	2,771	3.5	17	75,996	2,292	3.0
		喀痰細胞診		1,820	2	0.1		1,071	0	0.0
胃 検診		X線検査	17	39,045	2,532	6.5	17	39,973	3,098	7.8
		ハイリスク検査	10	3,781	771	20.4	10	3,704	800	21.6
特定 健康 診査	国 保 以 外	国保	16	44,660	21,444	48.0	16	44,198	21,514	48.7
		社保		8,794	3,583	40.7		8,703	3,621	41.6
		後期高齢者		18,273	9,307	50.9		15,747	8,016	50.9
		健康診査等		4,891	1,334	27.3		5,565	1,508	27.1
	計	16	76,618	35,668	46.6	16	74,213	34,659	46.7	
		風疹抗体検査※1	-	324	-	-	381	-	-	
子 宮 がん 検診	医療機関方式 (日母)	集団検診方式	17	28,580	746	2.6	17	31,415	712	2.3
		頸がん	8	8,647	384	4.4	8	9,577	408	4.3
		体がん	7	3,199	13	0.4	7	3,342	15	0.4
乳 がん 検診		マンモグラフィ+超音波	17	43,817	1,873	4.3	17	42,454	1,801	4.2
		超音波		4,659	159	3.4		4,933	137	2.8
		計	17	48,476	2,032	4.2	17	47,387	1,938	4.1

事業区分	令和4年度				令和3年度			
	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
大腸がん検診	16	75,514	3,558	4.7	16	73,438	3,507	4.8
骨密度検診	16	13,968	1,526	10.9	16	13,055	1,657	12.7
前立腺がん検診	16	26,634	2,103	7.9	16	25,142	2,060	8.2
甲状腺超音波検査※2	1	222	6	2.7	1	303	6	2.0

※1 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象として令和6年度末までの3年間、風しん抗体検査及び予防接種を原則無料で実施している事業

※2 東日本大震災後の住民の健康管理を目的として日光市(平成25～令和4年度)、塩谷町(平成28～令和2年度)で実施している事業

イ 働く人の健康を守る健診・検査事業（職域保健）

- (ア) 令和3年度に引き続き健診関連8団体で作成した「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策」に準拠した健康診断に取り組み、検診の重要性について受診企業に働きかけた結果、健康診断等の延期及びキャンセルを最小限に抑えることができました。
- (イ) 小規模集合型の健康診断において開催日数7日増、受診件数は444件増加しました。また、新規事業所(足利大学)において2日間で一般健診340件などを新規受託しました。
- (ウ) 健康診断の受託機関として総合的な評価や顧客満足度の向上を目的に、インフルエンザ予防接種にも取り組み、健康診断などを受託している15事業所2,898件を対象に実施しました。
- (エ) メンタルヘルス支援事業においては、新規事業所の獲得により、ストレスチェックで約930件、カウンセリングで約130件増加しました。また、教育研修では、新型コロナウイルス感染症対策として作成した映像研修コンテンツが新たな研修スタイルとして真岡市等に採用され、研修受講者数が増加しました。
- (オ) ハラスメント防止支援事業における社外相談窓口「ハラスメント相談ほっとライン」は、新たに真岡市等3団体に採用されたほか、地方公共団体及び企業向けに「相談担当者セミナー」を開催しました。
- (カ) 腸内細菌検査においては、国体開催に伴う食品取扱従事者等の検便依頼があったものの、大手団体の他機関移行や食品衛生協会会員の減等により、件数は減少しました。

事業区分		令和4年度				令和3年度					
		受診団体数	実施件数	要精検者数	%	受診団体数	実施件数	要精検者数	%		
胸部 検診	結核検診	60	14,069	224	1.6	51	14,597	187	1.3		
	肺がん検診	142	X線検査	75	1.3	141	5,645	61	1.1		
			喀痰細胞診	0	0.0		253	0	0.0		
胃検診		1,300	12,202	643	5.3	1,313	12,941	823	6.4		
健康診断	一般健康診断		2,294	72,751	20,967	28.8	1,913	72,698	20,939	28.8	
	特殊健康診断※1	法定項目	じん肺	61	1,146	-	-	47	581	-	-
			石綿	23	169	-	-	16	155	-	-
			有機溶剤	95	4,259	-	-	101	4,266	-	-
			電離放射線	27	3,344	-	-	27	3,141	-	-
			鉛	19	592	-	-	16	631	-	-
			特定化学物質	95	5,976	-	-	96	6,392	-	-
	行政指導		有害光線	23	919	-	-	20	889	-	-
			騒音	47	1,773	-	-	42	1,575	-	-
			情報機器	22	803	-	-	19	580	-	-
			その他	14	1,117	-	-	17	1,524	-	-

事業区分			令和4年度				令和3年度			
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
健康診断	メンタル ヘルス支援	ストレスチェック	173	37,173	-	-	153	36,236	-	-
		フォローアップ [※] 面談	9	35	-	-	7	68	-	-
		教育研修	9	1,496	-	-	9	1,129	-	-
		カウンセリング [※]	16	571	-	-	13	435	-	-
	ハラスメン ト防止支援	ほっとライン	7	-	-	-	4	-	-	-
		企業研修	15	1,120	-	-	11	743	-	-
		担当者セミナー	17	37	-	-	4	20	-	-
	風疹抗体検査	-	97	-	-	-	264	-	-	
	インフルエンザ予防接種	15	2,898	-	-	14	2,404	-	-	
子宮がん検診（集団検診方式）			421	3,445	108	3.1	434	3,507	93	2.7
乳がん検診	マンモグラフィ+超音波	455	2,027	113	5.6	462	2,149	113	5.3	
	マンモグラフィ+視触診		0	-	-		4	0	0.0	
	視触診+超音波		0	-	-		4	3	75.0	
	マンモグラフィ		646	52	8.0		618	48	7.8	
	超音波		2,195	112	5.1		2,052	95	4.6	
	視触診		0	-	-		45	0	0.0	
	3法		0	-	-		2	1	50.0	
	計		455	4,868	277		5.7	462	4,874	260
大腸がん検診			1,637	25,328	949	3.7	1,640	25,413	997	3.9
骨密度検診			21	511	71	13.9	26	511	67	13.1
前立腺がん検診			303	3,862	216	5.6	280	3,790	202	5.3
腸内細菌検査	食品取扱者	マルチプレックスPCR法 ^{※2}	1,339	83,421	25	0.030	1,330	83,817	26	0.031
	学校給食従事者等		409	43,151	11	0.025	423	47,648	11	0.023

※1 特殊健康診断の判定は各事業所の産業医が総合的に判断することから、受診団体数と受診者数のみの表記

※2 赤痢菌、サルモネラ属菌、O157やO26、O111等を含む腸管出血性大腸菌を同時にスクリーニング

ウ 子ども及び赤ちゃんの健康を守る健診・検査事業（学域・母子保健）

学域・母子保健は、新型コロナウイルス感染症による実施時期変更等の影響が少なかったため、令和4年度は計画どおり実施できましたが、近年は児童生徒数が減少傾向にあることから、検査件数は昨年度比で減少しています。

- (7) 心臓検診においては、栃木県児童生徒健康管理委員会での決定により令和4年度から検診内容の変更がありました。従来は一次検診として4誘導心電図・2点3心音図を、二次検診として12誘導心電図・4点8心音図・胸部X線撮影を実施していましたが、令和4年度からは、全員に対し12誘導心電図・2点3心音図検査を実施することとなり、二次検診は廃止されました。
- (イ) 寄生虫卵検査は、学校保健安全法施行規則の法定項目から平成28年4月1日に削除され、徐々に依頼件数が減少しています。
- (ウ) 先天性代謝異常等検査では、自治医科大学・獨協医科大学・済生会宇都宮病院との共同研究として、脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の2疾患を検査する拡大スクリーニング検査を、従来の検査に併せて実施いたしました。対象は全県下の新生児で、（一社）日本小児先進治療協議会からの補助金を活用し、希望者は無料で検査を受けることが出来ました。

事業区分			令和4年度				令和3年度					
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%		
結核検診			99	14,383	33	0.23	101	14,644	23	0.16		
心臓検診	小学校	心電・心音方式	419	10,716	339	3.16	427	11,017	400	3.63		
		12誘導方式		4,652	148	3.18		4,737	104	2.20		
	中学校	心電・心音方式	111	8,443	386	4.57	112	8,655	468	5.41		
		12誘導方式		100	8	8.00		173	4	2.31		
	高等学校	12誘導方式	101	16,748	797	4.76	106	16,369	650	3.97		
骨密度検診			1	67	0	0.00	1	82	0	0.00		
小児生活習慣病予防検診			219	12,982	395	3.04	218	13,675	359	2.63		
生化学検査			生化学検査	1	245	3	1.22	1	257	7	2.72	
			貧血検査	215	18,397	135	0.73	216	19,290	139	0.72	
			血清検査	2	606	-	-	2	599	-	-	
寄生虫卵検査			38	2,348	3	0.13	39	2,750	1	0.04		
腎臓検診			1次検査	420	119,444	7,098	5.94	421	122,026	6,963	5.71	
			2次検査		6,661	1,323	19.86		6,559	1,472	1.12	
尿検査			A (蛋白+糖)	1次検査	49	6,874	50	0.73	50	7,188	69	0.96
				2次検査		-	-	-		-	-	-
			D (蛋白+糖+潜血)	1次検査	247	33,306	855	2.57	238	34,228	869	2.54
				2次検査		-	-	-		-	-	-

事業区分		令和4年度				令和3年度			
		受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
先天性代謝異常等検査	アミノ酸代謝異常症 (*1)	-	11,323	0	0.000	-	12,425	1	0.008
	有機酸代謝異常症 (*2)			1	0.009			1	0.008
	脂肪酸代謝異常症 (*3)			2	0.018			1	0.008
	ガラクトース血症			3	0.026			2	0.016
	先天性甲状腺機能低下症			9	0.079			4	0.032
	先天性副腎過形成症			5	0.044			3	0.024
	低出生体重児 (*4)			227	-			-	250
	大スクリーニング検査 (*5)	-	10,738	1	0.009	-	-	-	-
脊髄性筋萎縮症 重症複合免疫不全症	4			0.037	-			-	

(*1) (*2) (*3) 先天性代謝異常等検査はタンデムマス法による検査で実施し、アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症として下表の17項目の検査を全ての受検者に実施

(*4) 先天性代謝異常等検査の「低出生体重児」実施件数は、2次検査の実施件数を計上

(*5) 令和4年度は「自治医科大学を主管とする多機関共同研究」として新生児マススクリーニングに

脊髄性筋萎縮症及び重症複合免疫不全症の2疾患を追加した拡大スクリーニング検査（臨床研究）を実施

区分	対象 疾患数	対象疾患名
アミノ酸代謝異常症 (*1)	5	①フェニルケトン尿症 ②ホモシスチン尿症 ③メープルシロップ尿症 ④シトルリン血症 I 型 ⑤アルギニノコハク酸尿症
有機酸代謝異常症 (*2)	7	①プロピオン酸血症 ②メチルマロン酸血症 ③イソ吉草酸血症 ④メチルクロトニルグリシン尿症 ⑤HMG血症 ⑥マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 ⑦グルタル酸血症 I 型
脂肪酸代謝異常症 (*3)	5	①CPT-1欠損症 ②MCAD欠損症 ③VLCAD欠損症 ④TFP/LCHAD欠損症 ⑤CPT-2欠損症

エ その他の検査事業（感染症検査事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年9月から新規事業として新型コロナウイルス感染症PCR検査及び高感度抗原定量検査を導入し、令和4年度においても引き続き検査を実施しました。感染状況や県内の検査体制の充実などの影響を受け、検査件数は昨年度から大幅に減少しました。

(ア) 栃木県及び宇都宮市の委託事業として、無症状妊婦を対象としたPCR検査を976件実施しました。

(イ) 一般を対象とした抗原定量検査では、宇都宮市から受託した「ビジネスPCR等検査支援事業」の36件を含む、1,680件を実施しました。

(ウ) 栃木県から保育園等を対象とした行政検査を受託し、抗原定量検査を369件実施しました。

事業区分		令和4年度		令和3年度	
		人数	日数	人数	日数
新型コロナウイルス感染症 PCR検査	一般	32	16	1,532	78
	無症状妊婦 ※1	976	134	1,918	144
	小計	1,008	150	3,450	222
新型コロナウイルス感染症 高感度抗原定量検査	一般	1,680	59	12,459	200
	一定高齢者等 ※2	-	-	429	12
	行政検査委託分 ※3	369	17	364	2
	小計	2,049	76	13,252	214

※1 無症状妊婦:不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業

※2 一定高齢者等:新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業

※3 行政検査委託分:栃木県から行政検査委託の依頼があった際に対応する

(2) 施設健診部門

ア 人間ドック

- (ア) 令和4年度の開催日は、当初の計画どおり233日間でした。しかし新型コロナウイルス感染症の波が1年間で3回到来したことから、体調不良等によるキャンセルが増えました。
- (イ) 基本コースの実施人数は、国保住民が増加しましたが、教職員が大きく減少したことにより昨年度比53名減の11,287名でした。1日あたりの実施件数は昨年度比0.3名減の48.4名でした。
- (ウ) オプション検査では、胃内視鏡検査の受診希望者が年々増加しており、令和4年度は94件増の3,159件実施しました。また、今年度新たにNT-proBNP(慢性心不全リスク検査)を導入し225件実施しました。

事業区分	令和4年度			令和3年度			
	実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%	
基本コース	11,287	3,703	32.8	11,340	3,690	32.5	
婦人ドックコース	33	2	6.1	17	1	5.9	
肺ドックコース	5	0	0.0	5	0	0.0	
オプション検査	乳腺超音波検査	3,312	89	2.7	3,307	61	1.8
	マンモグラフィ	2,291	49	2.1	2,321	41	1.8
	子宮頸がん検査	2,725	39	1.4	2,698	49	1.8
	経膈超音波検査	217	8	3.7	206	10	4.9
	骨粗鬆症検査	454	66	14.5	447	60	13.4
	PSA検査 (前立腺がん検査)	1,861	76	4.1	1,753	78	4.4
	胸部CT検査	779	9	1.2	785	8	1.0
	胃内視鏡検査	3,159	68	2.2	3,065	94	3.1
	血管年齢測定	396	-	-	377	-	-
	内臓脂肪測定	292	-	-	276	-	-
	HPV検査 (ヒトパピローウイルス)	73	-	-	88	-	-
	甲状腺超音波検査	394	15	3.8	414	21	5.1
	甲状腺機能検査	247	1	0.4	261	0	0.0
	視野検査	278	34	12.2	254	37	14.6
	頸動脈超音波検査	456	12	2.6	464	8	1.7
	ペプシノゲン検査	646	-	-	663	-	-
	血中ピロリ抗体検査	817	-	-	870	-	-
	HOMA-R (インスリン抵抗性検査)	151	-	-	137	-	-
	姿勢分析	66	-	-	141	-	-
	アレルギー検査	120	-	-	173	-	-
サインポスト遺伝子検査	47	-	-	60	-	-	
風疹抗体検査	38	-	-	44	-	-	
NT-proBNP (慢性心不全リスク検査)	225	1	0.4	-	-	-	

イ 特定健康診査

人間ドックフロアを使用して実施している特定健康診査は減少し、令和4年度は77名実施しました。

事業区分		令和4年度			令和3年度		
		実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
特定健康診査	社保	77	28	36.4	96	45	46.9

ウ 健康づくりセンター支援事業

栃木県、社会福祉法人とちぎ健康福祉協会及び当事業団の3者による「とちぎ健康づくりセンター事業の一層の推進のための取り組みの実施に関する協定書」に基づき、次の事業を実施しました。

(7) 医師の派遣

とちぎ健康づくりセンター利用者に対する医学的助言のため医師を年間20回派遣し、利用者64名とスタッフに対する助言指導を実施するとともに、健康づくり講座の講師として1回派遣しました。

(イ) とちぎ健康づくりセンターと連携した取組

とちぎ健康づくりセンターの利用者や事業団の特定保健指導対象者が、それぞれの施設の機能（センター：トレーニング施設、事業団：医学的検査）を活用しやすいように、スタンプカードや施設利用券を発行して利用促進を図りました。

(ウ) 県民の日イベントへの協力

6月4日（土）に開催された「とちぎ健康の森フェス」で、骨密度測定（無料）を97名に実施しました。

(3) 保健指導部門

ア 特定保健指導の実施

(ア) 人間ドックや集団健診後の特定保健指導は、22 団体の 1,373 人に実施しました。動機付け支援は 979 人、積極的支援は 394 人でした。

(イ) 集団健診当日において血液データ等が揃わない段階での保健指導（※初回分割面接）を一部保険者の依頼により 35 名に実施しました。

※初回分割面接：実施率向上や対象者の負担軽減を図るため、第三期（平成 30 年度）から実施が可能となったもの。

(ウ) 人間ドック受診時に積極的支援に該当した受診者のうち、ICT 活用（遠隔）による継続支援を希望した 5 名に対して Web 会議アプリ（Zoom）による面談を実施しました。

事業区分			令和4年度		令和3年度		
			実施団体数	実施件数	実施団体数	実施件数	
特定保健指導	市町村国保	出張型	動機付け支援	3	397	3	392
			積極的支援	4	104	4	116
		施設型	動機付け支援	1	33	1	29
			積極的支援	1	3	1	6
	その他	出張型	動機付け支援	6	90	6	105
			積極的支援	6	70	6	65
		施設型	動機付け支援	14	459	12	493
			積極的支援	12	217	12	296
	合計	動機付け支援		24	979	22	1,019
		積極的支援		23	394	23	483
		総実施件数			1,373		1,502

※出張型：依頼団体が指定した会場に出張して保健指導を実施する場合

施設型：とちぎ健康の森内で保健指導を実施する場合

※動機付け支援の中に動機付け支援相当10件（市町村国保出張型2件、その他出張型3件、その他施設型5件）を含む

※合計の実施団体数は延数

イ 健診事後指導等の専門職派遣

市町や事業所等から健診事後指導等や健康教室の依頼を受け、保健師・管理栄養士・健康運動指導士を派遣しています。

令和4年度は健診事後指導を6団体に対し69日間、健康教室等は7団体に対し22日間実施しました。健康教室のうち新たに受託した「事業所における身体機能測定（体力測定）」は従業員137名に実施しました。また、県職員の「脱メタボ教室」では15名に対し6回にわたり講習を実施し、生活改善への取組を支援しました。

事業区分		令和4年度		令和3年度	
		実施団体数	実施日数	実施団体数	実施日数
健診事後指導（個別）		6	69	6	95
健康教室等（集団）	市町	-	-	-	-
	事業所	6	21	3	6
	その他	1	1	1	22
合計		13	91	10	123

ウ 健康相談センター事業

県民からの様々な相談に対し、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフが対応しています。

令和4年度は124件の相談があり、内容としては人間ドック・集団健診等の検査所見や医療機関紹介に関する相談が全体の半数以上を占めています。

相談内容区分	令和4年度				令和3年度			
	人間ドック		集団健診等		人間ドック		集団健診等	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
検査所見	25	31.3	13	29.5	21	31.3	16	23.2
医療機関紹介	22	27.5	15	34.1	21	31.3	24	34.8
検査内容	2	2.5	1	2.3	1	1.5	1	1.4
生活習慣	4	5.0	3	6.8	4	6.0	5	7.2
その他	27	33.8	12	27.3	20	29.9	23	33.3
小計	80	100	44	100	67	100	69	100
合計	124				136			

(4) 食品環境検査部門

ア 食品検査

細菌検査は、食品衛生協会大田原支部管内の食品製造業者等からの依頼が減り昨年度比 841 件減の 8,093 件、理化学検査は昨年度比 168 件減の 849 件実施しました。

イ ノロウイルス検査

昨年度対比 28 件減の 920 件実施しました。

ウ 放射能検査

放射能検査は、一般財団法人栃木県環境技術協会から環境試料の依頼が減り昨年度比 57 件減の 542 件実施しました。

事業区分		令和4年度			令和3年度		
		実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
食品検査※	細菌検査	8,093	18	0.22	8,934	74	0.83
	理化学検査	849	2	0.24	1,017	2	0.20
	農薬検査	3,748	0	0.00	3,424	0	0.00
	ノロウイルス検査	920	20	2.17	948	23	2.43
放射能検査	食品・環境試料等	293	0	0.00	349	0	0.00
	飲料水	249	0	0.00	250	0	0.00
	計	542	0	0.00	599	0	0.00

※ 食品検査は、検査項目数を実施件数としています。

エ 食品自主衛生管理認証制度（とちぎ HACCP）

認証業務を行う認証機関として 10 回の審査会を開催し、4 件の新規認証と 20 件の認証更新を行いました。

区分	令和4年度	令和3年度
新規	4	7
更新	20	17
計	24	24

オ 簡易専用水道検査等

(ア) 簡易専用水道検査は、栃木市教育委員会(小中学校)が他機関移行したことにより現場検査を昨年度比 57 件減の 1,304 件実施しました。

(イ) 一般水質検査は、主に温泉水や浴槽水のレジオネラ属菌検査等を昨年度比 40 件増の 486 件実施しました。

その他(嫌気性芽胞菌など)を昨年度比 20 件増の 154 件実施しました。

事業区分		令和4年度			令和3年度			
		実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%	
簡易専用水道検査等	簡易水道検査	現場検査	1,304	31	2.38	1,361	26	1.91
		書類検査	136	0	0.00	133	0	0.00
	一般水質検査	レジオネラ属菌検査等	486	44	9.05	446	29	6.50
		その他(嫌気性芽胞菌など)	154	0	0.00	134	0	0.00

2 健診・検査等結果に基づく調査・研究事業

県民の疾病予防、生活環境の保全、健康の保持増進及び県内における検診技術や学術水準の向上を図るため、健診・検査等で得られたデータの集統計及び解析やがん検診受診者の精密検査受診状況の追跡調査を行い、その結果及び検診手法などに関して得られた成果を学会に発表するほか、事業年報等にまとめて市町や事業所などの受診団体等に対して提供することにより、疾病予防対策及び県民の健康管理の基礎資料としての活用を促進しました。

また、県民向けの健康情報等の発信を定期情報誌やホームページを活用して実施するとともに、当該成果等を活用して各種の普及啓発事業を実施しました。

(1) 発見がん追跡調査の実施

令和3年度に、住民健診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、精密検査結果連絡票にがん又はがん疑いと記載のあった症例について、発見がん追跡調査を実施しました。各がん取扱い規約に基づいた詳細な内容を把握する調査票を、精密検査を実施した113医療機関宛てに1,208枚送付し、回収できたのは1,134枚(回収率93.9%)でした。

これにより、がん発見率や陽性反応適中度等のプロセス指標値の遵守状況を把握し、がん検診の精度管理状況の評価をし、改善に向けた検討を行っています。なお、追跡調査結果は、読影医及び調査協力医療機関に報告しています。

(2) 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施しています。当事業団では県内唯一の健診受託機関として参画しており、令和4年度は41名の対象者に健康診査を実施しました。

(3) 低線量CTによる肺がん検診の比較試験への協力

肺がんによる死亡者が増加していることから、日本医療研究開発機構(AMED)は、胸部X線検査のみを行う検診と、胸部CT検査を併用する検診の比較試験を実施し、胸部CT検査の有効性を検証しています。当事業団は、令和4年12月からこの事業に参加し、27名に検査を実施しました。

(4) 診断結果等の提供

健診・検査等で得られたデータ及びそれらのデータを統計的に分析したものを、受診団体及び調査・研究機関等に提供しました。

ア 地域・職域診断サービス報告書を受診団体へ提供

受診団体における健康づくりに活用いただくために、健康診断の有所見率や生活習慣などについて当該団体と全国・県データを比較評価し、報告書として提供しています。さらに要望に応じて保健師等を派遣し、分析結果や改善策について直接説明を行っています。

令和4年度は20団体(14市町・6事業所)に提供しました。

*全国・県のデータは公益財団法人予防医学事業中央会の「地域職域診断サービス」を活用

イ 事業年報作成及び配布

健診・検査等で得られたデータの集統計や解析、がん追跡調査の結果等をまとめた当事業団発足以来発行している事業年報(第46号)を670部作成しました。県民の疾病予防及び健康増進のための基礎資料や、地域・職域において実施される保健事業の計画及び市町が定める健康増進計画策定等の参考にできるように、県、市町、受診団体、医療機関、大学などの関係機関に配付したほか、より多くの方が利用できるようホームページに公開しました。

ウ 各種学会研修会等での公表

研究の成果を広く県内関係団体や全国的な研究機関等における疾病の予防、生活環境の保全、健康増進のための基礎資料として活用の促進に繋げるため、事業の成果を次のとおり学会で発表し、公表しました。

学会名（開催日・開催場所）	演 題
第60回栃木県公衆衛生学会 ・令和4年9月13日 ・宇都宮市	1 当施設における受診間隔別の胃がん進行度について 2 ICTを活用した特定保健指導事業について 3 無症状者を対象とした新型コロナウイルス感染症抗原定量検査の実施報告（第2報）
令和4年度飲料水検査及び簡易専用水道検査技術研修会 ・令和4年9月16日 ・千葉県	1 過去17年間の検査結果から見る、貯水槽の劣化傾向と耐用年数についての考察
第49回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会 ・令和4年10月8日 ・鳥取県	1 乳がん超音波検診における超音波所見の陽性反応的中度（第2報） -栃木県保健衛生事業団における住民検診より-
第56回全国予防医学技術研究会 ・令和5年3月3日 ・石川県	1 胸部X線画像AI読影支援システムの構築について 2 当施設における心電図検査至急連絡について 3 連続受診率からみる住民健診Web予約における受診日優先予約方式（日付指定）の導入効果について

3 精度管理の充実

(1) 内部精度管理

ア 当事業団施設で行われている各部門の検体検査について、日常的なデータの精度が一定基準の範囲内にあるかを、得られたデータをもとに統計学的手法を用いて解析評価を行いました。また、既知試料（標準物質）などを使用して、日々の検査精度（精密度や正確度）の確認を行いました。

さらに精度向上のため、エックス線撮影・読影、心電図判定については、外部の専門家を含めた委員会を開催しました。

委員会名	開催日	開催場所
精度管理専門委員会肺がん検診委員会	令和5年3月16日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会胃がん検診委員会	令和5年3月20日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会子宮頸がん検診委員会	令和5年2月28日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会乳がん検診委員会	令和5年3月14日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会心電図検査委員会	令和5年3月10日	とちぎ健康の森

イ 読影医師の負担軽減や読影精度の標準化と読影の効率化を目的に、AI（人工知能）を活用した胸部X線画像診断支援システムを導入し、令和4年10月から運用を開始しました。

(2) 外部精度管理

外部精度管理については、次に示す第三者機関が実施する精度管理調査に参加し、客観的評価を受けて検査精度を確認し、精度管理の徹底を図りました。

区分	精度管理名	実施団体名	評価
結核検診	胸部画像精度管理研究会	公益財団法人結核予防会	評価A、B
	胸部エックス線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合評価A
肺がん検診 子宮がん検診 (細胞診)	日本臨床細胞学会コントロールサーベイ	公益社団法人日本臨床細胞学会	正解率98.5%
	日臨技臨床検査精度管理調査	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	評価A
胃がん検診	胃部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 一般社団法人日本消化器がん検診学会	総合評価A

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名	評 価
健康診断 特殊健康診断 生化学検査 特定健康診査	日本医師会臨床検査精度管理調査	公益社団法人日本医師会	3項目4項目評価B その他は全て評価A
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
	全衛連臨床検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
	予防医学事業中央会精度管理調査 健診・検査データ共有化事業	公益財団法人予防医学事業中央会	総合評価A
	労働衛生検査に関する精度管理調査 (鉛・有機溶剤健康診断に係る代謝物等 の測定に関する精度管理調査)	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
超音波検査	腹部超音波検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 公益社団法人日本人間ドック学会	評価A
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
心電図検査	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
先天性代謝 異常検査	先天性代謝異常症等 マス・スクリーニング精度管理	NPO法人タンデムマス・ スクリーニング普及協会	検査精度は適正
食品検査	食品衛生外部精度管理調査	一般財団法人食品薬品安全センター	全て満足
放射能検査	放射性物質測定技能試験	公益財団法人日本分析センター 一般財団法人日本食品検査	満足
簡易専用水道検査	簡易専用水道外部精度管理調査	厚生労働省 一般社団法人全国給水衛生検査協会	評価S

4 優良施設認定等の維持

当事業団は次に示す全国的評価機関の行う各種認定を受け、人材の育成、機器の管理、システムの充実に努めました。

区 分	認 定 等 の 名 称	認 定 団 体
乳がん検診	マンモグラフィ検診施設画像認定	特定非営利活動法人日本乳がん検診 精度管理中央機構
特定健康診査 健康診断	労働衛生サービス機能評価認定機関	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会
	健診・検査データ共有化事業認証施設	公益財団法人予防医学事業中央会
	臨床研修協力施設	厚生労働省
細胞診	日本臨床細胞学会認定施設	公益社団法人日本臨床細胞学会
人間ドック	人間ドック健診施設機能評価認定施設	一般社団法人日本病院会 公益社団法人日本人間ドック学会
簡易専用水道検査	水道法第34条登録検査機関 (登録番号第41号)	厚生労働省

5 学術委員による指導

健診・検査の精度の向上や効果の高い事業を実施するため、自治医科大学・獨協医科大学・国際医療福祉大学病院などの公衆衛生をはじめとした各部門の専門医である13名の学術委員より指導を受け、検査システムの構築や改善並びに精度向上に努めました。

学 術 委 員 氏 名	所 属
中 村 好 一	自治医科大学 地域医療学センター 公衆衛生学部門教授
藤 原 寛 行	自治医科大学 産科婦人科学講座主任教授
妹 尾 正	獨協医科大学 医学部大学院 眼科学教授
小 橋 元	獨協医科大学 副学長 獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座教授

学 術 委 員 氏 名	所 属
入 澤 篤 志	獨協医科大学 医学部 内科学（消化器）主任教授 獨協医科大学病院 副病院長
小 嶋 一 幸	獨協医科大学 医学部 外科学（上部消化管）主任教授
有 阪 治	獨協医科大学 名誉教授 獨協医科大学 特任教授
難 波 美津雄	佐野医師会病院 名誉院長
内 田 克 紀	国際医療福祉大学 医学部教授 国際医療福祉大学病院 腎泌尿器外科上席部長
柴 信 行	国際医療福祉大学 医学部教授 那須シミュレーション医学センター長 国際医療福祉大学病院 副院長 国際医療福祉大学塩谷病院 副院長
鈴 木 光 明	新百合ヶ丘総合病院 がんセンター センター長 自治医科大学 名誉教授
安 藤 二 郎	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
小 林 望	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 検診センター長

6 健診・検査等における新たな手法の取組

行政や医師会、大学病院等と連携し、より精度の高い効果的な手法による健診・検査を実施して、新たな手法等の検証や精度管理の向上に係る研究等を積極的に行いました。

(1) 先天性代謝異常等検査における拡大スクリーニング検査

先天性代謝異常等検査において、脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症を対象とした拡大スクリーニング検査を、自治医科大学・獨協医科大学・済生会宇都宮病院との共同研究として実施いたしました。（10,738件：先天性代謝異常等検査実施件数の94.8%）

(2) 新型コロナウイルス感染症検査事業

令和2年度から企業や団体を対象とした新型コロナウイルス感染症PCR検査と高感度抗原定量検査を導入しました。自主事業と併せて、県や市町からの委託検査も実施しました。

事 業 名	受 託 団 体
新型コロナウイルス感染症 高感度抗原定量検査 PCR検査	令和4年度：無症状妊婦PCR検査（栃木県・宇都宮市） 抗原検査・PCR検査行政検査（栃木県） 宇都宮ビジネスPCR等検査支援事業（宇都宮市）

(3) ハラスメント相談事業

令和2年6月の「労働施策総合推進法」（「パワハラ防止法」）施行に併せて整備した「ハラスメント相談ほっとライン」では、令和4年度は新規に3団体から相談事業や研修を受託しました。

事 業 名	受 託 団 体
ハラスメント相談ほっとライン事業	令和3年度：小山市・市貝町・さくら市・一般事業所（1事業所）
	令和4年度：小山市・市貝町・さくら市・下野市・真岡市・一般事業所（2事業所）

7 健診・検査等の質の向上のための連携体制の構築

行政や他の検診機関、関係機関等と連携した協議会等の主催や研修会の開催及び全国の関係機関との情報交換の実施等の各種取組を展開し、県民の健康の保持増進や県内の健診・検診等の質の向上を図りました。

(1) 栃木県がん集検協議会・がん集団検診従事者研修会の運営

県民に、より精度の高いがん検診を提供するため、がん検診の有効な実施手法の検討及びがん検診従事者の資質向上等を目的として、県内の保健所、市町、医師会及び大学病院や検診機関などの医療関係機関などを構成員とした栃木県がん集検協議会を栃木県立がんセンターと協力して運営し、次に示す研修会等を開催しました。

研 修 会 等 名 称	開 催 日	開 催 場 所
第1回精度管理部会	令和4年 8月23日	とちぎ健康の森
第1回前立腺がん検診部会	令和4年 9月21日	Web形式
肺がん検診従事者研修会	令和5年 2月27日	Web形式
大腸がん検診従事者研修会	令和5年 3月 2日	Web形式
乳がん検診従事者研修会	令和5年 3月 7日	Web形式
精度管理研修会	令和5年 3月14日	とちぎ健康の森
子宮がん検診従事者研修会	令和5年 3月18日	Web形式
胃がん検診従事者研修会	令和5年 3月20日	Web形式
第2回精度管理部会	令和5年 3月20日	書面開催
第2回前立腺がん検診部会	令和5年 3月29日	Web形式

(2) 栃木県集団検診実施機関連絡協議会の運営

県内における集団検診の向上発展を図ることを目的として、栃木県集団検診実施機関連絡協議会の事務局を運営し、連絡会議等を開催しました。

(3) 専門医師、技術者の講師派遣等

当事業団が有する検診技術等を広く普及させ、県民の健康保持・増進に繋げていくため、公益財団法人日本対がん協会や特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構等が行う各種講習会や研修会に主催団体からの依頼に応じて医師等を講師として派遣しました。

主な派遣先は次のとおりです。

研 修 会 等 名 称	講 師 派 遣
産業保健セミナー 計7回（栃木産業保健総合支援センター、真岡労働基準協会）	医師
認定産業医研修 計3回（地区医師会・栃木産業保健総合支援センター共催）	医師
特定化学物質、四アルキル鉛等作業主任者技能講習 計6回（人財学園）	医師
有機溶剤作業主任者技能講習 計2回（人財学園）	医師
第73回、76回、77回マンモグラフィ更新講習会	医師
第20回マンモグラフィ読影指導研修会	医師
第50回マンモグラフィ読影講習会	医師
第19回乳房超音波更新講習会（医師）	医師
第32回日本乳癌検診学会学術総会	医師
2022年度乳房超音波講師研修会	医師
第26回日本対がん協会マンモグラフィ撮影技術講習会	医師、放射線技師
乳房超音波講習会（第17回医師・第19回技術）	医師

(4) 研究会・研修会及び会議等への参加及び情報交換

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会が開催する全国大会や公益財団法人予防医学事業中央会が開催する各全国大会やブロック会議などに参加し、全国の各種予防医学活動の動向を把握するほか、全国の関係団体間での精度管理、血液検査データの共有化などを図り、県民に対して、より精度の高い健診・検査を提供できるよう努めました。

(5) 県などが実施する各種検討会への参画

栃木県などが県民の健康保持・増進やがんなどの生活習慣病対策のために設立している各協議会等に委員として参画しました。なお、主な協議会等への参加状況は次のとおりです。

委員会名	委員会における役職	開催日	出席者
栃木県がん集検協議会	副会長	令和4年6月29日	理事長
	理事		医療局長
	副会長	令和4年8月12日 (書面開催)	理事長
	理事		医療局長
栃木県公衆衛生協会	副会長	令和4年6月30日	理事長
		令和5年2月9日	
栃木産業保健総合支援センター運営協議会	委員	令和4年10月25日	理事長
栃木県がん対策推進協議会がん検診部会	委員	令和4年7月19日 (Web開催)	医療局長
栃木県がん対策推進協議会がん登録部会	委員	令和5年2月7日 (Web開催)	乳がん検診部長
とちぎ健康21プラン推進協議会及び健康長寿とちぎづくり推進協議会幹事会	委員	令和5年3月13日	理事長

(6) 公衆衛生学実習生の受入れ

公衆衛生学の実習生受け入れを次のとおり実施しました。

内容	実施日	対象	人数
公衆衛生看護学実習Ⅱ	令和4年5月27日	足利大学看護学部4年生	51人
公衆衛生学実習(環境衛生について)	令和4年7月20日～ 8月5日(6日間)	栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学科 3年生	20人
公衆衛生看護学実習Ⅱ (健診機関における保健活動)	令和4年9月27日	栃木県立衛生福祉大学校保健学科	29人
健診業務における臨床検査技師の役割 及び他職種との連携について	令和5年3月9日	栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学科 2年生	16人

8 会議等の開催

(1) 評議員会・理事会

令和4年度の評議員会・理事会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第24回 評議員会	令和4年4月1日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について 2 理事の選任について
第25回 評議員会	令和4年5月13日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について
第26回 評議員会	令和4年6月23日	1 令和3年度事業報告の承認について 2 令和3年度決算の承認について
第27回 評議員会	令和4年8月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について
第28回 評議員会	令和5年3月7日 (全員同意によるみなし決議)	1 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する 規程の一部改正について
第54回 理事会	令和4年4月1日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について 2 事務局長の任免について 3 評議員選定委員会委員の選任について
第55回 理事会	令和4年4月1日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事長の選定について 2 理事の報酬額について
第56回 理事会	令和4年4月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員選定委員会委員の選任について
第57回 理事会	令和4年4月28日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について 2 評議員候補者の推薦について

会議名	開催月日	主たる審議事項
第58回理事会	令和4年6月6日	1 令和3年度事業報告について 2 令和3年度決算報告について 3 評議員会の開催について 4 業務執行状況の報告
第59回理事会	令和4年8月5日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第60回理事会	令和4年9月1日 (全員同意によるみなし決議)	1 田村明彦理事の利益相反取引に係る承認について
第61回理事会	令和5年2月17日 (全員同意によるみなし決議)	1 公益目的事業の追加に係る変更認定申請について
第62回理事会	令和5年3月1日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第63回理事会	令和5年3月15日	1 令和4年度補正予算について 2 令和5年度事業計画について 3 令和5年度予算について 4 役員賠償責任保険の加入について 5 常勤役員の期末手当の額について 6 常勤役員の業績手当の支給及び額について 7 理事田村明彦氏との業務委託契約について 8 業務執行状況の報告

(2) 評議員選定委員会

令和4年度の評議員選定委員会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第16回評議員選定委員会	令和4年5月24日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について

(3) その他の会議

その他の会議を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
令和4年度 集団健診実施機関 連絡協議会	令和4年 9月16日 (とちぎ健康の森)	1 議題 (1) 役員の選任について (2) 令和3年度事業報告 (3) 令和3年度収支決算報告および令和3年度監査報告 (4) 令和4年度事業計画 (5) 令和4年度収支予算 2 意見交換 (1) 新型コロナウイルスへの対応策について (2) 人間ドック検査結果における、協会けんぽ判定基準の取扱いについて (3) 上部内視鏡検査の実施状況について (4) 子宮頸がん検診について (5) 当日結果説明に対応した専門医による画像診断について (6) 巡回健診時の検診車のトラブル対応について (7) 胃X線撮影における体重制限について (8) カスタマーハラスメントへの対応について (9) 性的少数者への対応について 3 報告事項およびその他

会議名	開催月日	主たる審議事項
第6回 とちぎ産業保健 セミナー	令和5年 3月 8日 (WEB開催)	1 講演 「働く世代の健康づくり ～健康経営のススメ～」 講師：栃木県保健福祉部健康増進課健康長寿推進班 片根 明子様 2 事業紹介 「健康診断どう活かす？健康診断結果の活用法など ～働く世代に伝えたい事～」 講師：公益財団法人栃木県保健衛生事業団健康支援課 3 報告事項およびその他
令和4年度 住民健診担当者 意見交換会	令和5年 3月14日 (とちぎ健康の森)	1 がん検診精度管理に関する研修会 (1) 発見がん追跡調査報告 (2) 肺がん検診における精度管理及び胸部AI読影について 2 意見交換 (1) 検診・検査の変更点について (2) 自治体意見交換：グループワーキング 健診受診者に対する利便性（予約・資材等）向上について (3) その他

9 安全管理体制の充実

(1) 個人情報保護マネジメントシステム（プライバシーマーク）の推進

当事業団が取り扱う多くの要配慮個人情報の管理の重要性を踏まえ、職員意識の向上と、個人情報の取り扱いについての社会的信用を確立することを目的に、プライバシーマーク制度を導入し、個人情報保護マネジメントシステム運用しています。平成17年度に県内医療機関初の認定を受けたプライバシーマーク制度の趣旨に基づき、継続的に JIS 要求規格に適応した個人情報保護マネジメントシステムの改善に努めています。令和4年度は、通算10回目の付与適格申請を、審査機関である一般財団法人医療情報システム開発センターに行いました。

(2) リスク管理システムの推進

安全かつ適切な業務の管理・推進のために設置しているリスク管理委員会において、インシデント事例の収集やアクシデント防止の対策等について審議し、職員教育に取り組むなど組織全体で情報の共有を行い、リスク管理体制を強化し安全性の向上に努めました。

10 機器等の整備

健診・検査精度の向上や効率化を図るため、次のとおり機器、電算システム及び車両等を整備しました。

(1) 検査等機器

(取得価格 1,000,000 円以上)

No.	機器名等	型式・規格	数量	用途	区分
1	乳房X線撮影装置 (画像処理コンソール含む)	富士フイルムメディカル AMULET Innovality	1	人間ドック	更新
2	タンデムマス装置	SCIEX Triple Quad 4500 LC/MS/MS System	1	代謝異常検査	更新
3	LED電子内視鏡装置	FUJIFILM エルクセオ	1	人間ドック	更新
4	自動身長計付体組成計	タニタ DC-270AN	1	人間ドック	更新
5	自動眼屈折計	ニデック ハンドヘルド レフラクトメーター	1	健康診断	更新
6	ハイキャパシティ冷却遠心機	久保田商事 8730	1	生化学等検査	更新

(2) 電算システム(ハードウェア・ソフトウェア)

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
1	健診管理システム	住民健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
2	健診管理システム	事業所健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
3	健診管理システム	特定保健指導用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
4	健診管理システム	特殊健康診断用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
5	ストレスチェックシステム	ストレスチェック1次用サーバ (ハードウェア)	1	(株)ケーシーエス	更新
6	人間ドックシステム	人間ドック情報管理システムサーバ (ハードウェア)	1	(株)メルクスシステム	更新
7	人間ドックシステム	人間ドック情報管理システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
8	画像管理システム	画像管理システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)スリーゼット	新規
9	胃部外部読影用端末	読影用端末3M×2面 (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	新規

(3) 車両

No.	車両名	型式・規格	数量	用途	区分
1	胸部検診車 (X線撮影装置載せ替え)	キヤノンメディカルシステムズ SREX-A32B	1	胸部検診	新規
2	乳がん検診車 (X線撮影装置載せ替え)	キヤノンメディカルシステムズ MGU-1000D	1	乳がん検診	新規
3	胃部検診車 (I. I (イメージ インテンシファイア) 交換)	富士フィルムヘルスケアシステムズ IT-13S(B)	1	胃検診	新規
4	胃部検診車	日野 2PG-FQ1AJJ キヤノンメディカルシステムズ SREX-D32C	1	胃検診	更新

